

## 令和2年6月議会報告（本会議）

令和2年6月11日

質疑議員	質疑・答弁内容
<p>公明党 村上 直樹 議員</p>	<p><b>新型コロナウイルスの感染拡大に起因するDV・虐待について</b> (質問13-2-1)</p> <p>次に、新型コロナウイルスの感染拡大に起因するDV・虐待についてお伺いします。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大の影響は、良くも悪くも私たちの生活や仕事に大きな変化をもたらしています。政府による緊急事態宣言が出され、外出自粛の要請がなされ、在宅勤務やテレワークを導入する企業が増えています。テレワークは働き方改革の切り札として、今回の感染症対策以前から政府が普及・推進しており、私も平成28年9月議会で地方創生の有益な施策として、地元企業への普及を提案させて頂いたところです。今回、在宅勤務やテレワークが思わぬ形で急速に広がってきましたが、大きな問題点や課題も見えてきたようです。</p> <p>自宅にいる時間が多くなることにより、「夫と一緒に夕食がうれしい」「子育てや家事ができる」など在宅勤務を喜ぶ夫婦も多い一方で、国際連合は4月、外出制限でDVが急増していると警鐘を鳴らしました。夫婦で過ごす時間が増える中、些細なことからけんかとなり離婚に至る「コロナ離婚」という現象も起きているようです。そこで2点お伺いします。</p> <p>1点目に、もともと家族が行動を共にすることが多い年末年始やGWのような連休などにはDVの相談が多くなると聞いています。今回のように、外出という選択肢が奪われることで、これまでの生活様式が大きく変わることとなり、今まである程度の距離があって保たれていた関係が一気に崩れる事になります。そのような中、その不安のエネルギーの捌け口が暴力として弱者に向けられる事は想像に難くありません。そこで、いわゆるDV防止法では、行政がDV被害を受けた方の相談を受けて、逃げる場所の提供や、生活の支援を行うこととされていますが、今回の緊急事態宣言の発出前後における相談件数や相談内容等の状況、また、実際に保護した事案があればその概要について、お聞かせください。</p>
<p>局長</p>	<p>(答弁)</p> <p>私からは、DVに関する質問についてご答弁申し上げます。</p> <p>本市の配偶者暴力相談支援センターへの緊急事態宣言期間のDV相談件数は、4月から5月で合計31件であり、昨年の同時期の43件に比べ、増加している状況ではございません。</p> <p>また、被害者からの相談のうち約9割が女性であり、「新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛や在宅勤務から夫と一緒にいることが増え、逃げ出したい」「感染症の影響から夫の暴言が激しくなった。どうしたらいいか」といった相談が寄せられております。</p> <p>実際に保護した事案につきましては、夫や父から暴力を受けており危険である、あるいは、同居する夫と別れたが、夫は実家を知っており、帰る場所がないといったケースがございます。</p>

	<p>現時点では、DVの相談件数や保護件数の増加は見られないものの、表面化していない被害の潜在化や深刻化が懸念されるため、被害を受けている人を孤立させないことや、人とのつながりを持ってもらうことが重要でございます。</p> <p>そのため、内閣府が今年4月に開設しました24時間対応の「DV相談プラス」や、本市のDV相談窓口の周知啓発を強化するための事業費を今回、予算計上しております。</p> <p>今後、速やかに、新聞や雑誌等への掲載、動画の作成、相談窓口をまとめた支援カードを作成し、周知啓発を図ることとしております。</p> <p>DVは、いかなる理由があっても決して許されるものではございません。環境が変化する中、支援を必要とする方のニーズや状況の把握に努め、DV被害者のケアをしっかりと行ってまいりたいと考えております。</p>
<p>公明党 村上 直樹 議員</p>	<p>DVについてお伺いしたいと思うんですけども、DVを受けている人って今回に限らず自分から通報してくる人が多いのか、それとも別の媒体から通報してくるのか。</p> <p>というのはですね、ステイホーム中ということは家にご主人も一緒にいるので、電話等ができないんじゃないかと思うんですよね。どういう分け方をしているのか、分かれば教えていただきたい。</p>
<p>局長</p>	<p>DV相談につきましては、今年の4月・5月の相談件数を見ますと、本人からの相談が16件でございます。全体が31件ということで、約52%となっております。</p> <p>議員ご指摘のとおり、家に配偶者がいるために電話しにくいということもあろうかと思えます。そのためにも、今年4月にですね、内閣府が開始いたしましたDV相談プラスというサービスがございますので、そういったものを活用するよう今後周知していきたいと思っております。</p>
<p>公明党 村上 直樹 議員</p>	<p>いろんな通報の方法がありますよ、ということもあわせてですね、ぜひ周知していただければと思います。よろしく申し上げます。</p>